

## シラス卵稚仔分布調査情報 (No.6)

平成27年9月18日(金)に、調査船「いばらき丸」によりシラス卵稚仔調査を行いました。調査結果は以下のとおりです。

### 【調査内容】

銚田市玉田沖の定線において、ノルパックネットによる卵採集調査(水深150mからの鉛直曳き)、新稚魚ネットによる仔稚魚採集調査(表層曳き)、および海洋観測調査を行いました。



調査船いばらき丸(179トン)

### 【調査結果】

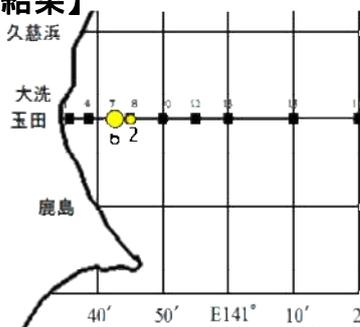


図1 カタクチイワシ卵採集結果

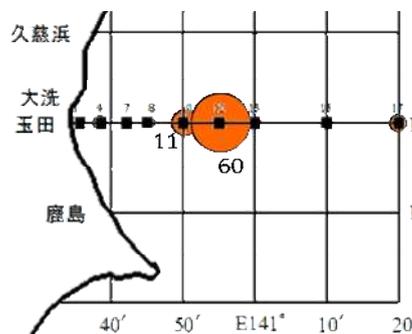


図2 イワシ類仔魚採集結果  
(マシラス, ウルメシラスを含む)

- 調査点  
(上の数字は地点番号)
- 採集量  
(下の数字は採集数)

表 調査点及び海洋観測結果

調査位置 (北緯36° 15')	st(調査点)	1	4	7	8	10	12	13	15	17
	経度	140° 35'	38'	42.5'	45'	50'	55'	141° 00'	10'	20'
	離岸距離(マイル)	1	4	8.5	11	16	21	26	36	46
観測結果	水深(m)	15	26	39	53	120	281	522	706	1000
	水温 0m	22.0	22.0	21.8	21.7	21.6	22.7	22.8	22.3	22.4
	50m	-	-	-	-	16.8	15.9	16.0	15.5	16.1
	100m	-	-	-	-	14.1	13.0	12.6	12.4	12.7
	流向°(10m)	334	185	210	214	151	134	134	160	165
流速Kt(10m)	0.3	0.1	0.5	0.5	0.5	1.3	1.2	1.0	0.2	

### 【まとめ】

調査ラインの表層水温は、先月から2~3℃降温し、21~22℃台でした。潮流は全体的に逆潮傾向でした(上表)。また、カタクチイワシ卵及びイワシ類仔魚の採集量は先月より少なく、平年を下回りました(図1,2)。現在、鹿嶋市沖に漁場が形成されていますが、今後も南部を中心に暖水が波及すると予測されていることから、引き続き漁場は限定的と推測されます。

### 【今年の卵稚仔分布状況について】

今年の調査は今回(9月)で終了となります。図3に今年の卵・稚仔分布量とシラス水揚量の推移を示しました。卵、仔魚の出現ピークはいずれも5月で、県内では5月下旬から7月にかけて、北部及び南部を中心にシラス漁場が形成されました。

(担当 回遊性資源部 029-262-4172)

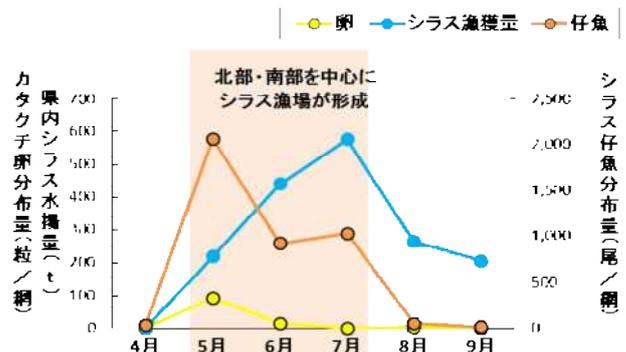


図3 卵・稚仔分布量とシラス水揚量の推移